

業務状況説明書

(平成28年10月1日から平成29年3月31日まで)

富士見市下水道事業

1 平成28年度下半期の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

平成28年度末における水洗便所化人口は、103,893人で、前年度末に比べ645人の増加となっています。

1日平均処理水量は183 m^3 の減少、有収水量は82,798 m^3 の増加となっています。

区 分 \ 年 度	平成28年度 (年度末)	平成27年度 (年度末)	比 較	
			増 減	増減率 (%)
水洗便所化人口 (人)	103,893	103,248	645	0.62
1日平均処理水量 (m^3)	32,655	32,838	Δ 183	Δ 0.56
有 収 水 量 (m^3)	10,261,454	10,178,656	82,798	0.81

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、柳瀬第9処理分区（大字水子地内）、鶴瀬駅西口土地区画整理地内の管渠築造工事を実施しました。雨水事業につきましては、別所雨水ポンプ場において、ポンプ増設、機械・電気設備工事を実施しました。また、新河岸川第一排水区（尺地堀）及び新河岸川第五排水区（別所堀）の幹線築造工事を実施しました。特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第14処理分区（大字南畑新田地内、大字下南畑地内）、新河岸第12-2-2処理分区（大字上南畑地内、大字勝瀬地内）の管渠築造工事を実施しました。

なお、江川第4汚水管渠築造工事（第2工区）、柳瀬第9汚水管渠築造工事（第4工区）、新河岸第14汚水管渠築造工事（第4工区）、別所雨水幹線築造工事（第3工区）につきましては、管渠布設に際し、既設埋設管の移設、切回しが生じたことや関係機関との調整に日数を要したことなどから、平成29年度に繰越をいたしました。

(2) 経理の状況（税込）

下半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

(単位:千円)

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	事業収益	1,837,821	825,590	1,061,485	1,887,075	102.68
	営業収益	1,269,329	823,428	498,123	1,321,551	104.11
	営業外収益	568,491	1,998	563,203	565,201	99.42
	特別利益	1	164	159	323	32,252.40
支出	事業費	1,579,452	242,883	1,270,497	1,513,380	95.82
	営業費用	1,339,381	123,956	1,159,609	1,283,565	95.83
	営業外費用	239,031	118,737	110,604	229,341	95.95
	特別損失	540	190	284	474	87.82
	予備費	500	0	0	0	—

イ 資本的収入及び支出

(単位:千円)

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	資本的収入	1,577,627	178,012	954,427	1,132,439	71.78
	企業債	1,175,700	0	645,000	645,000	54.86
	国庫(県)補助金	225,700	0	303,200	303,200	134.34
	負担金	176,227	178,012	6,227	184,239	104.55
支出	資本的支出	2,336,300	470,165	1,364,570	1,834,735	78.53
	建設改良費	1,531,833	72,505	958,765	1,031,270	67.32
	企業債償還金	803,467	397,660	405,805	803,465	100.00
	予備費	1,000	0	0	0	—

2 平成29年度予算の概要

(1) 予算編成概要

下水道事業の取り巻く環境は、人口増加の鈍化や生活様式の多様化、節水意識の定着や節水器具の普及などにより、下水道収益の大きな伸びが期待できない状況です。

公共下水道汚水事業につきましては、水子地区の舗装本復旧工事を実施し、南畑地区は引続き計画的に整備促進を図っています。

また、公共下水道雨水事業につきましては、別所雨水ポンプ施設の計画的な更新事業を行うとともに別所雨水幹線につきましては順次整備を図っています。

今後も市民生活の安心・安全のため、都市環境の改善を図り、都市の健全な発展と公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資するため、計画的に整備を進めるとともに、維持管理に努め、経費の削減はもとより、健全で効率的な経営を推進するための予算を編成しました。

(2) 業務の予定量

年度 区分	平成29年度	平成28年度	増減
年間処理水量 (m ³)	12,191,434	12,686,361	△494,927
水洗化世帯戸数 (戸)	52,428	51,407	1,021
管渠布設距離 (m)	1,830	4,740	△2,910

(3) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の税込収入は、前年度比1.06%減の18億1,833万1千円、支出は、前年度比1.92%減の15億4,918万6千円で、収支差引で2億6,914万5千円の黒字となっています。

第4条予算（資本的収入及び支出）の税込収入は、前年度比46.94%減の8億3,709万2千円、支出は、前年度比35.69%減の15億237万5千円となり、収支差引では6億6,528万3千円の赤字が見込まれますが、この赤字分については、損益勘定留保資金等で補てんするものとしております。

(4) 収入支出明細書

収益的収入及び支出

収 入

(単位:千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
下水道事業収益		1,818,331	
営業収益		1,292,712	
	下水道使用料	981,033	下水道使用料の予定額を計上
	他会計負担金	311,199	汚水及び雨水処理負担金等の予定額を計上
	その他の 営業収益	480	下水道指定工事店指定手数料等の予定額を計上
営業外収益		525,618	
	受取利息	63	預金利息の予定額を計上
	他会計補助金	210,000	一般会計からの補助金の予定額を計上
	長期前受金戻入	313,779	長期前受金の戻入予定額を計上
	雑収益	1,776	勝瀬原調整池及び桜井雨水幹線占用料等の予定額を計上
	消費税及び地方 消費税還付金	0	
特別利益		1	
	過年度 損益修正益	1	過年度損益修正益を計上

支 出

(単位:千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
下水道事業費用		1,549,186	
営業費用		1,329,108	
	管渠費	500,375	管渠の維持管理に要する経費を計上
	業務費	43,012	使用料の徴収業務等に要する経費を計上
	総係費	30,009	下水道事業の総括的経費を計上
	水洗化促進費	279	水洗化促進に要する経費を計上
	減価償却費	755,433	固定資産等の減価償却費を計上
営業外費用		219,038	
	支払利息	204,718	企業債及び一時借入金の利子を計上
	雑支出	300	過誤納に伴う還付金等(過年度分)を計上
	消費税及び 地方消費税	14,020	消費税及び地方消費税納税予定額を計上
特別損失		540	
	過年度 損益修正損	540	過年度損益修正損を計上
予備費		500	
	予備費	500	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位:千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 収 入		837,092	
企 業 債		560,400	
	企 業 債	560,400	下水道施設の建設に対する企業債の予定額を計上
国 庫 (県) 補 助 金		78,000	
	国 庫 (県) 補 助 金	78,000	下水道施設の建設に対する国庫補助金の予定額を計上
負 担 金		198,692	
	負 担 金	198,692	受益者負担金及び一般会計等負担金の予定額を計上

支 出

(単位:千円)

款 項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 支 出		1,502,375	
建 設 改 良 費		721,197	
	建 設 総 係 費	75,184	下水道建設事業に要する事務費を計上
	公 共 下 水 道 建 設 事 業 費	288,189	公共下水道の建設に要する経費を計上
	特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 建 設 事 業 費	300,363	特定環境保全公共下水道の建設に要する経費を計上
	流 域 下 水 道 事 業 費	50,161	流域下水道事業建設負担金を計上
	固 定 資 産 購 入 費	7,300	施設用地購入費を計上
債 還 金		780,178	
	企 業 債 債 還 金	780,178	企業債元金の償還金を計上
予 備 費		1,000	
	予 備 費	1,000	